

本資料は、投資家が匿名組合契約の申込みにあたり、必要な営業者情報を営業者が独自にまとめたものであり金融商品取引法による法定開示情報ではありません。

# 茶産地再生プロジェクト

CHATO CO., LTD.

株式会社カクニ茶藤

# 大河内北工場

2018年11月より東京のスタートアップ企業 **TeaRoom** と提携し、静岡市の本山（ほんやま）地域にて茶園の運営と緑茶の製造を始めました。本山地域は高級茶の産地として800年近い歴史を持ち、徳川将軍家や明治天皇に最高級緑茶を献上してきました。この地域で営まれてきた緑茶生産の伝統を継承しつつ、持続的なビジネスモデルの構築を目指し、和紅茶などの新分野にも挑戦しています。



## 工場長 水野 嘉彦

1995年10月 生まれ  
2018年 5月 株式会社 **TeaRoom** を共同創業  
2018年10月 日本大学商学部 商業学科 卒業



# 日本茶のあらたな魅力

お茶は製造方法から大きく3つに分かれます。

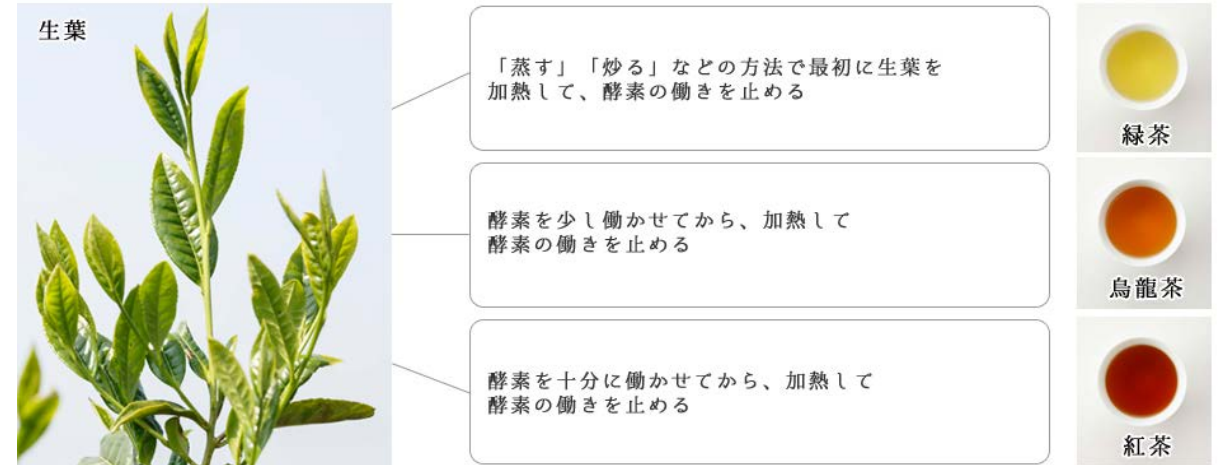
不発酵茶（緑茶）

半発酵茶（烏龍茶）

発酵茶（紅茶）

日本のお茶は多くが緑茶として製造をされてきましたが、近年「和紅茶」という日本のお茶を畑で葉を摘んですぐに蒸して緑を残すのではなく、発酵させて紅茶にする農家さんが増えています。

日本のお茶の多様性が広がりつつある今、茶畑から製造というサプライチェーンの中で、私たちも積極的にお茶のあらたな魅力発見に挑戦しています。





# 放棄茶園の再生事業

## 放棄茶園とは

茶農家の高齢化により、栽培・管理を放棄される茶園が全国で急増しています。特に山間地では、景観の悪化や野生動物の侵入と言った環境問題だけでなく、防災上の理由からも放棄茶園の対策が急務となっています。

## 放棄茶園でつくる焙じ茶や紅茶

摘採が行われずに徒長した茶の枝や葉を収穫した後、それらを焙じ茶や紅茶に加工する事業に取り組んでいます。焙じの過程において、枝や葉に蓄えられた糖分やアミノ酸などが独特の香りと甘味を生みます。

## この事業が目指すもの

私たちは当事業により、

- ・ 放棄茶園の再生
- ・ 農家への利益還元による持続的な農園経営
- ・ 農園周辺環境維持

を目指します。





# 放棄茶園を製品へ

## 放棄茶園の伐採

耕作放棄された茶園は、高いもので3 m以上、3年放棄されたものでも相当な高さにまで育っています。足場が悪いところも多く、伐採作業はかなりの重労働です。

## 選別

伐採した放棄茶はまず丁寧に汚れを落とし、虫やごみ等を手作業で取り除いて行きます。きれいになったお茶は、茎の部分を裁断しほうじ茶へ、葉の部分を発酵させ和紅茶へ製造します。

## 商品化

放棄茶園を原料とした製品は、そのまま原料として飲料メーカーへ販売したり、静岡のフルーツとブレンドし、ブレンドティーとして商品化したり、様々な可能性を秘めています。私たちはいち早く商品化を実現し、放棄茶園の再生だけでなく、農家の方へ利益が還元できる事業の確立を目指しています。



# 今後の課題

## 茶園の再生、地域の再生

大河内北工場は本山(ほんやま)という高級茶の産地として800年近い歴史を持つ地域です。ただ、近年のライフスタイルの変化により、数十年前は贈答用にもよく使用されていた高級茶は、今はあまり親しまれていません。

この地域がもつ歴史とお茶生産の文化を継承する為に、今の時代に合った地域の魅力作りと発信をしていきたいと思っています。





# お茶の魅力発信

## 茶産地の自然を体験する

大河内北工場をはじめ、静岡には山間地にお茶畑が沢山存在しています。壮大な自然の中ですくすくと育つお茶の葉を摘採して自分のお茶を畑から作る、というツアーも可能です。

## 色々なお茶の楽しみ方

お茶は急須で淹れるだけでなく、料理とペアリングをしたり、カクテルにしたり、と様々な楽しみ方があります。

Tea farm



Farm experience and self discovery

Diversity



Explore the tea world, both traditional and new

# お茶が広げる人のつながり

お茶を通じて人の輪が広がり、静岡がお茶体験を共有できる素敵な場所になることを望んでいます。

## Tea Community

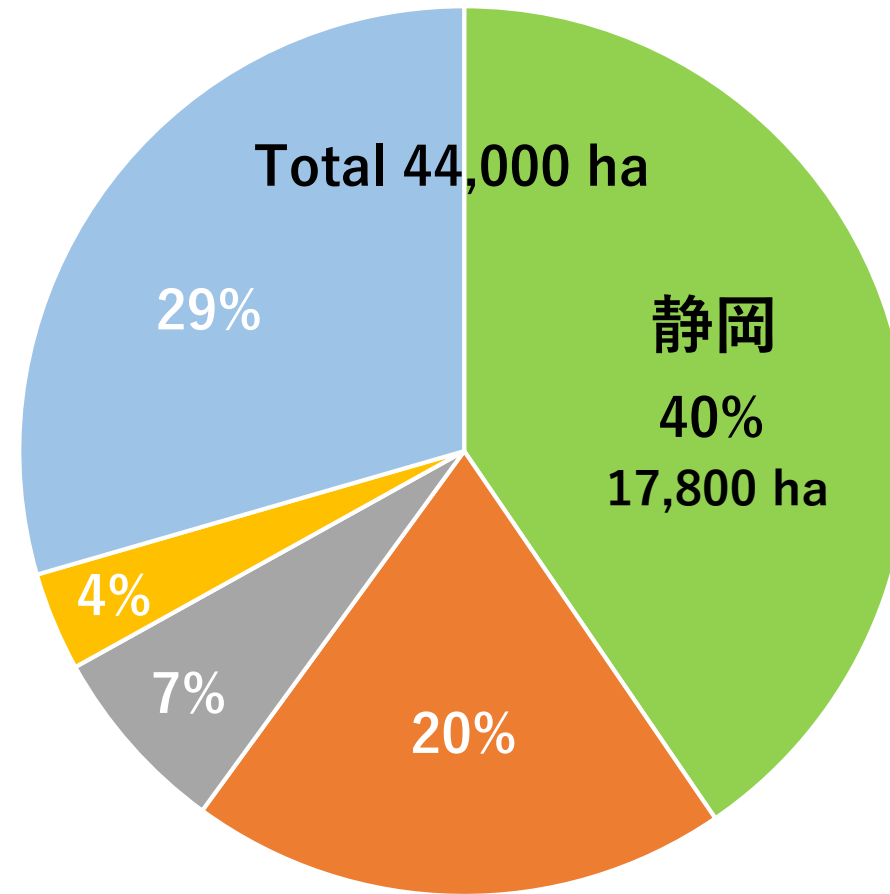


Interact and expand your world of tea



# 参考資料

## 緑茶の主な生産地と面積（2015）

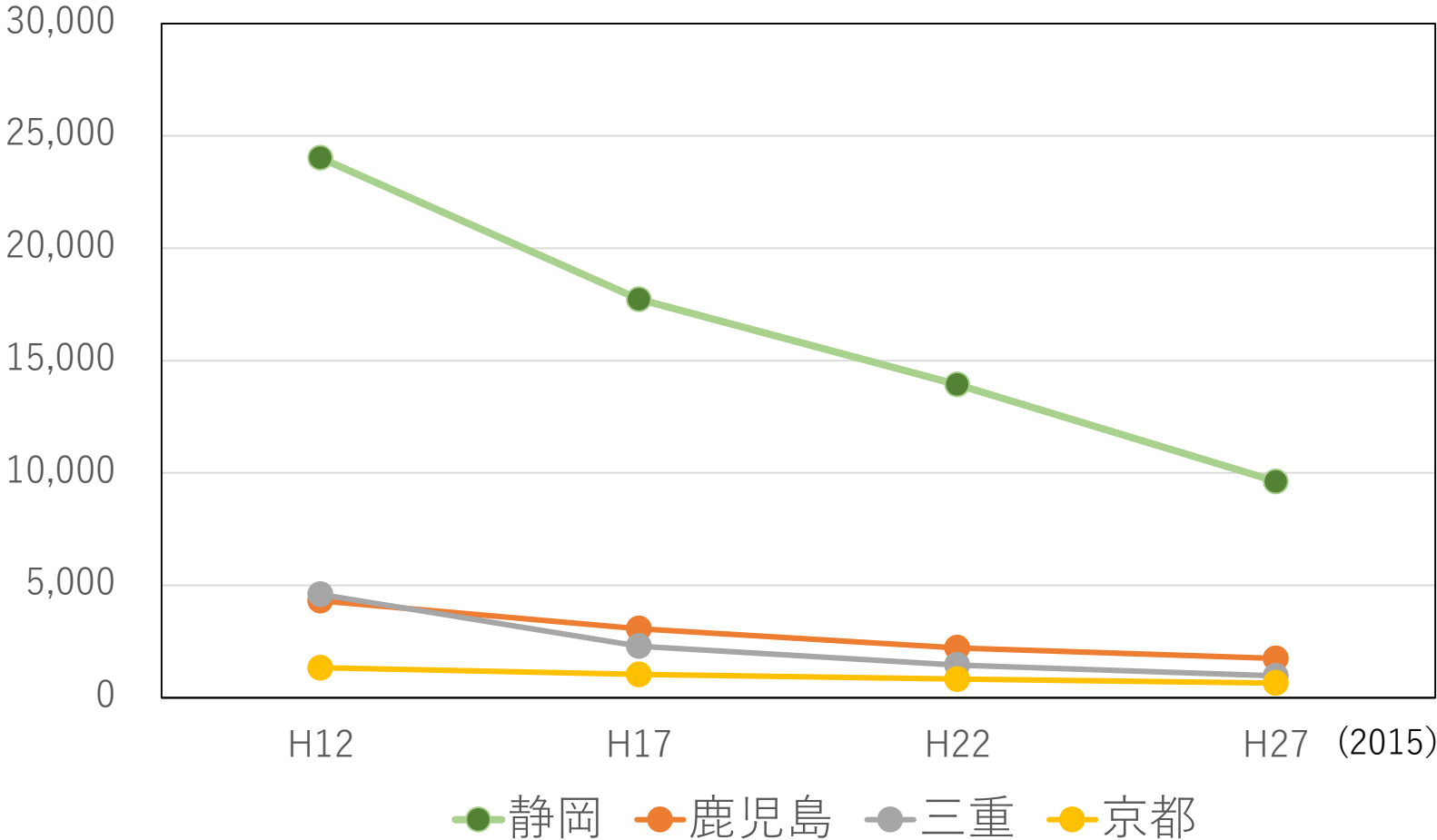


■ 静岡 ■ 鹿児島 ■ 三重 ■ 京都 ■ その他

茶をめぐる情勢：農林水産省

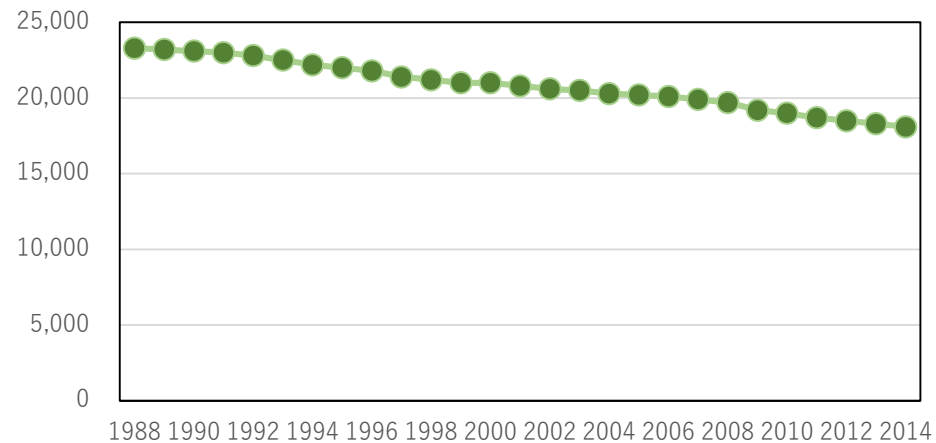


# 茶農家の件数



茶をめぐる情勢：農林水産省

## 静岡 茶園面積 (ha)



10年間で約10%のペースで減少

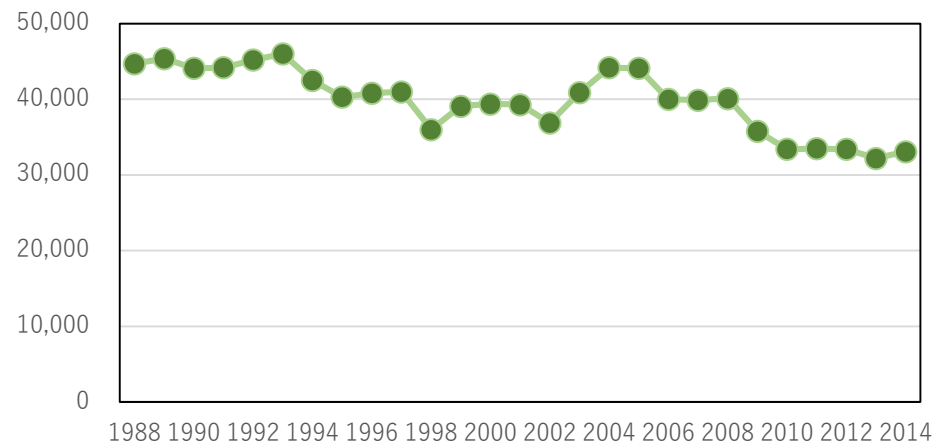
2017年 茶園面積 17,100 ha



過去10年間で最大3,000 haあまりの茶園が摘採放棄されている？

茶園面積減少に伴い、生産量も減少

## 静岡 荒茶生産量 (t)

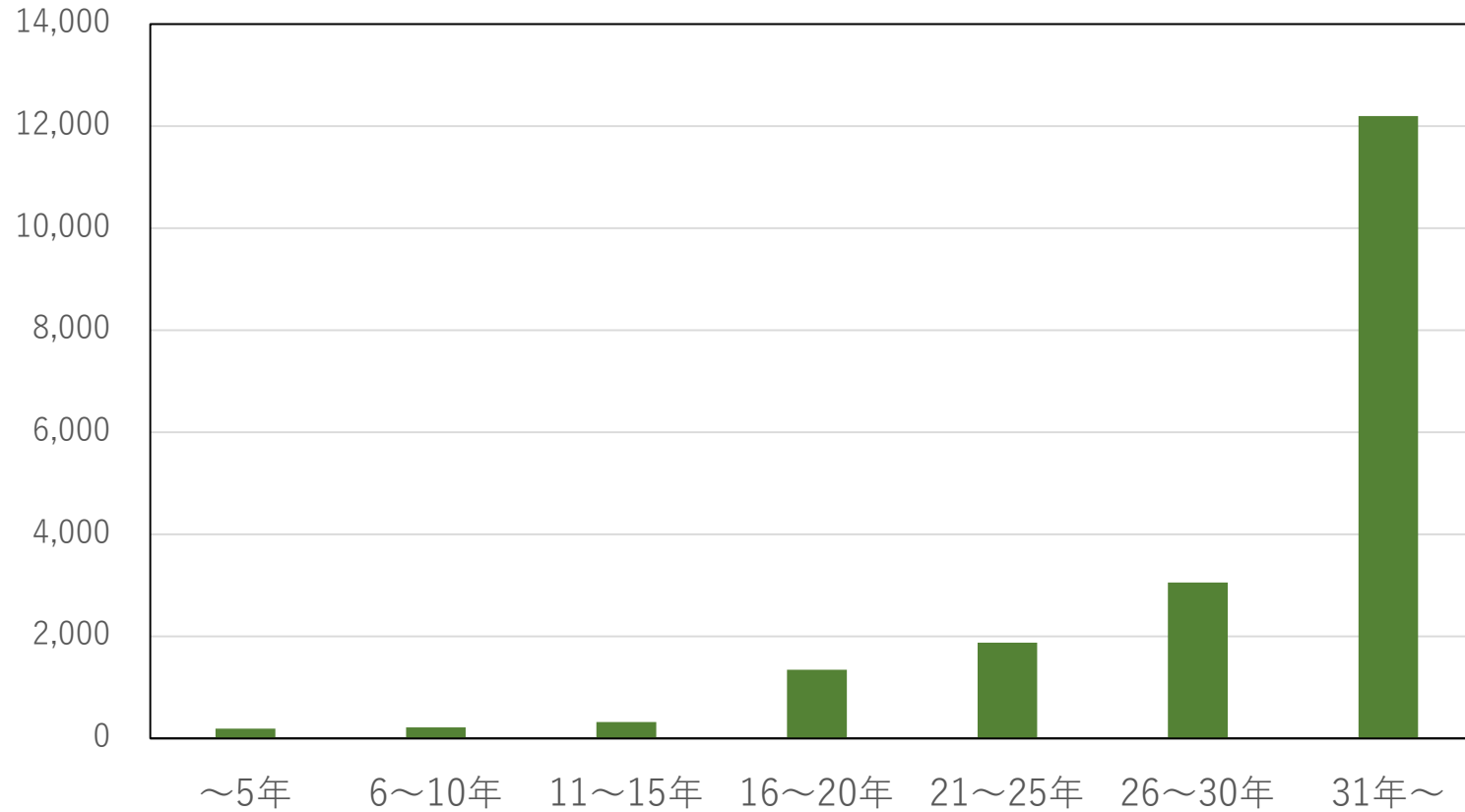


お茶白書：静岡県茶業産業課



## 静岡県 樹齢別茶園面積 (2009)

(ha)



国税庁  
減価償却資産の耐用年数等に関する省令



茶：34年

お茶白書：静岡県茶業産業課

## (ご参考) 財務情報

(単位：百万円)	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期
売上高	1,255	1,453	1,401

(単位：百万円)	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期
現預金	231	264	305
純資産	215	230	244

注) 決算月は2月です。

上記財務情報については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。